

事業名	体験型観光企画調整事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	会計	事業計画	単年度繰り返し		
	課	観光推進課				予算科目	款	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				目	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	開始年度 H26	実施方法	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり		終了年度		事業分類	直営	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					その他内部事務事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	体験型観光を展開している施設管理者が、関連する情報を収集・共有し施設間の連携を推進するための企画調整会議を開催、そこで個々のメニューの見直し、磨き上げ、新しい企画等を協議する場を設ける。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	体験メニューの充実を図り、市内宿泊者数、来訪者数を増加させる。
-------------------------	---------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
体験型宿泊施設の利用者数	人	34,000	24,000	24,500	25,000	25,500
体験額宿泊施設の利用者数	人	14,100	9,000	9,100	9,200	9,300

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	複業人材を活用し、新たな体験メニューの検討・開発を行った。また、体験メニューを持つ「あきやま学寮」「根古屋森林公園」「蓬山口グビレッジ」の3施設の指定管理者と連絡を取り合い、各施設の現状や問題点を把握、共有し、更なる連携の強化を図った。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
各施設との協議回数	回	24	24	36
体験メニュー数	個	34	41	33
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	コロナウイルス感染症が5類に移行したこと及び体験メニューのPRに努めたことにより、利用者数・宿泊者数ともに増加した。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
体験型宿泊施設の利用者数	人	6,262	15,250	17,153	値が大きいか小さい	効果が上がった
体験額宿泊施設の利用者数	人	1,891	2,879	4,019	値が大きいか小さい	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数 0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数 0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果が上がった	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・あきやま学寮が令和6年度から休館になることに伴い、体験メニューが大きく減少するため、今後の体験型宿泊について検討する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現在の体験メニューの精査を実施し、施設毎の特徴を捉えた体験メニューに見直しを行う。